

社協あんなか

 この機関紙は共同募金の配分金によって発行されます。

平成 23年 8月 20日発行



うまく割れるかな？

「ふれあいセンター祭り」が盛大に開催

… も く じ …

- (2) 日常生活自立支援事業
- (3) 住民参加型福祉サービス「きずな」、運営協議会委員紹介
- (4) 東日本大震災に関するボランティア情報
- (5) 地域の話題等
- (6) 市内福祉施設等紹介
- (7) ボラセン・サロン通信、ふくしの豆知識
- (8) 福祉ふれあいまつり福祉バザー物品並びボランティア大募集等

連日の猛暑の中、7月15日（金）に「第6回安中市障害者福祉ふれあいセンター祭り」（新堀372-1）が開催されました。

午前中は、利用者と保護者で昼食用の手打ちうどんやかき揚げ作りに汗を流しました。

午後は、レクリエーションで「レクボラほほえみ」の皆さんの手作り道具で、利用者や来賓者等とゲームで楽しいひと時を過ごしました。

今後もイベントの充実を図っていきたいと、スタッフの意気込みを強く感じました。

（鈴木）

日常生活自立支援事業

(福祉サービス利用援助事業)

『あなたの暮らしの“安心”をお手伝いする事業です。』

Q1 どんな人が利用できるの？

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方やお金の管理に困っている方などが利用できます。

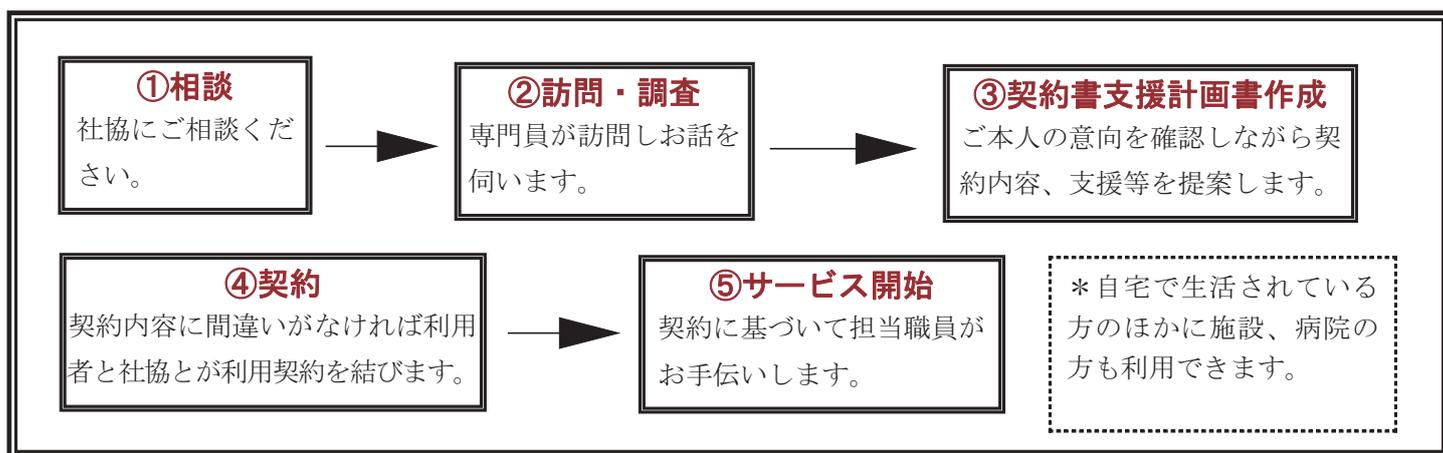
Q2 どんなことをしてくれるの？

- (1) 福祉サービスの利用のためのお手伝い（情報提供、相談、苦情解決制度の利用援助等）
- (2) 日常の金銭管理（利用料金、公共料金の支払い、年金や福祉手当の受領に必要な手続き）
- (3) 書類などの預かりサービス（通帳、印鑑、権利証等）

Q3 どのくらいかかるの？

利用料については、相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。実際に支援に入る時間によって金額が変わります。また、その方の所得により利用料の助成があります。

Q4 どうすれば利用できるの？



*福祉サービス利用の申し込み、契約手続き、日常的なお金の出し入れ、預金通帳の預かりなどのお手伝いをします。詳しくは下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ】

安中市社会福祉協議会

安中本所 安中市安中3-19-27 TEL 027-382-8397 FAX 027-382-8396

松井田支所 安中市松井田町新堀245 TEL 027-393-3948 FAX 027-393-4414

寄付者の紹介 (敬称略・順不同)

平成23年6月1日～平成23年7月31日

- ・橋本正枝歌謡教室
- ・静塔会
- ・小林定吉
- ・有坂寿子
- ・上原栄子歌謡教室
- ・上原丘カラオケ教室
- ・琴城流大正琴 愛好会安中扇城
- * 東日本大震災義援金除く

あたたかいご協力ありがとうございます

住民参加型福祉サービス「きずな」

Q1 住民参加型福祉サービス「きずな」はどんなサービスですか？

行政の制度や公的なサービス（介護保険等）では出来ないサービスを、有償でボランティアが手助けをしてくれる事業です。（お礼やお金を渡す人がいるので、気兼ねなく頼むために有償ボランティアにしています。）

Q2 どんな人がサービスを受けられますか？誰でもボランティアできますか？

利用する人を利用会員と呼んでいます。日常生活を営むことに支障があり手助けを必要とする市民が対象です。

ボランティアをする人を提供会員と呼んでいます。提供会員は、年齢・性別に関係なく事業に共感していただける健康な市民であれば登録できます。両会員共に登録料1,000円が必要となります。

Q3 どんなサービスがありますか？

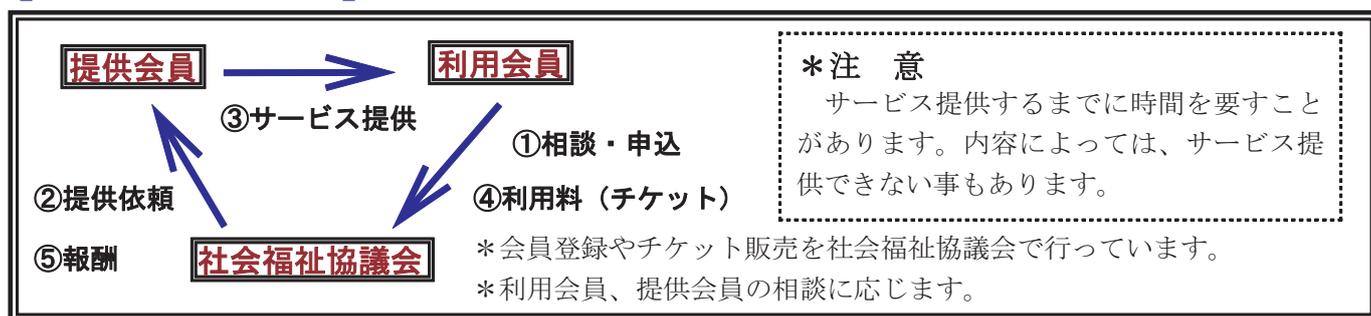
- (1) 簡単な家事援助サービス（食事の支度、後片付け、洗濯、掃除・整理整頓布団干し等）
- (2) 簡単な外出代行サービス（近所の買い物等 *車の運転が伴う場合、基本的に利用会員は同乗できません。）
- (3) 趣味共有サービス（お話し相手、近所の散歩の付き添い、お茶飲み相手等）
- (4) 子育て支援サービス（お留守番の付き添い、乳幼児及び児童の世話、遊び相手等）
- (5) その他（庭木の水やり、代筆、電球交換、ペットの簡単なお世話等）

*上記に記載していないサービスでも相談に応じますが、公的なサービスが優先になりますので、場合によっては提供できない場合や時間調整が掛かることがあります。

Q4 料金はどのくらいかかりますか？

- ・利用会員は事前にチケット（1時間券700円・30分券350円）を購入していただき、サービス提供時に時間に応じ提供会員に手渡しします。*チケットは購入後返金できません。
- ・提供会員は、時間に応じて報酬が支払われます。（1時間500円、30分250円）
- *登録料、チケットと報酬額の差額は、保険代や事務費として利用します。

【サービスのしくみ】



住民参加型福祉サービス運営協議会委員紹介

任 期 平成23年4月1日～
平成25年3月31日迄

役 職 名	氏 名	選出区分
会 長	大 澤 文 一	学識経験者
副会長	黛 典 周	民生委員児童委員協議会関係者
委 員	根 岸 尚 美	提供会員代表
〃	原 野 正 嗣	介護支援専門員関係者
〃	池 田 泰 弘	社会福祉団体関係者
〃	小 原 加 代 子	行政関係者
〃	志 村 千 晶	行政関係者

東日本大震災に関するボランティア情報

東日本大震災が発生してからニュースや新聞等でも連日報道されていますが、多くのボランティアが被災地に足を運び、復旧・復興支援活動を行い被災地を支えています。今後も多くのボランティアの力が必要とされていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

群馬県社会福祉協議会では、「関東ブロック都県・指定都市社協災害協定」に基づき関東の幹事社協から依頼を受け、県社協職員と市町村社協職員では、福島県内災害ボランティアセンターへ職員派遣を行っています。安中市社会福祉協議会も6月5日～10日（5泊6日）、福島県南相馬市鹿島区災害ボランティアセンターへ職員の派遣を行いました。

ボランティアセンターへ派遣されて（社協職員の活動）



朝の受付とミーティング

各地の災害ボランティアセンター運営支援を中心に、被災地の情報握把や被災者支援等をするために全国の社会福祉協議会職員が被災地へ派遣され、現地に集まったボランティアと共に災害支援を行っています。

南相馬市は、福島県内で最大の犠牲者が出ている地域で、津波の被害を受けたままになっている場所が多くありますが、個人宅のニーズは減少しており、仮設住宅への移動支援が中心となる時期を迎えようとしておりました。

今回、ボランティアの受付やコーディネート、保険加入の手続き、ボランティアセンターの清掃や機材整理等を行い、ボランティアが円滑に災害支援ができるように活動してきました。

【災害ボランティアセンター】とは？

災害発生時のボランティア活動を効率よく推進するための組織です。平常時でも組織化されている所もあり、災害発生時に対応するボランティアの養成や市民向け防災教育訓練、防災啓蒙活動を行うボランティアの拠点も有しています。

【災害ボランティアセンター設置、運営状況】（7月11日現在）

被害の大きかった岩手、宮城、福島の東北3県における災害ボランティアセンター設置状況は66市町村。（全国では6県76市町村）



機械の清掃・片付けをするボランティア

当会では、市民の皆様の災害ボランティア活動をお手伝いいたします。情報は各地のホームページで最新情報をご確認いただき、活動に関するアドバイスやボランティア活動保険の加入申し込み受付等を行っています。（被災地でのボランティア活動前に加入をお願いいたします。）

災害支援に関するボランティア活動は、ニーズが日々変化していますので不明な点や相談事は下記までご相談ください。

【問い合わせ】

安中市社会福祉協議会・ボランティアセンター

本所 382-8397

支所 393-3948

地域の話題

情報は
社協事務局へ

安中本所 TEL 382-8397
松井田支所 TEL 393-3948

心のこもった「おにぎり作り」 災害時に備えて

7月9日（土）、板鼻祇園祭で板鼻2区「すぎの子子供会」10名が、災害時のおにぎり作りを体験しました。（板鼻2区酒井祭典委員長宅内）

初めに酒井祭典委員長が、今年の春、大きな災害があった事を問いかけ、もし災害が起きた時、人の命をつなぐためにすぐ食べられる物を作ることが大切との話しに、子供たちはうなづいていました。

その後、子供たちは、ビニール手袋をつけた両手で楽しそうに、なれない手つきで一生懸命ごはんをにぎっていました。（三井田）



おにぎり作り挑戦

ダンスでリフレッシュ!! 夜もぐっすり

子育て支援センター花の木（新井ひとみ園長）に於いて小林美子先生を講師にベビーダンスが行われました。赤ちゃんとお母さんが一緒にクラシックなどの曲を聴きながらダンスをします。赤ちゃんとお母さんが密着してダンスをするのでスキンシップが図れると同時に、体を動かす事でリフレッシュができます。

参加されたお母さんは、「授乳しないと寝られない娘がベビーダンスで眠ることが出来たので感動しました」これからも子育て家庭をサポートしてもらいたいと思います。（新井）



親子で楽しくダンス

「来年も参加したい」 安中市ひとり暮らし高齢者保養事業

7月7日（木）～8日（金）、1泊2日「ひとり暮らし高齢者保養事業」を実施しました。

事前に申し込みがあった201名の参加者がバス6台に乗車し、富山市民俗民芸村や瑞龍寺等を見学しました。また、宿泊先の寺尾温泉では、日本最大級の大岩風呂に浸かり日頃の疲れを癒してきました。夜の宴会では催し物を披露し、参加者の親睦を深める楽しい時間となりました。帰る際には、お土産を両手に持って「来年も参加したい」と嬉しそうに帰っていかれました。（事務局）

夏休みの思い出作り 母子父子家庭親子ふれあい事業

7月23日（土）市内母子・父子家庭の交流と親睦を図ることを目的とし、「親子ふれあい交流事業」を実施しました。

当日は、32組81人の親子が市内を出発、バス2台で東京ディズニーシーに向かいました。

猛暑の中、子どもたちは元気にお母さんと行列に並んでは、乗り物に乗って歓声をあげていました。参加者は「夏休みの思い出になりました」と嬉しそうに話していました。親子の交流を深められた良い一日となりました。（事務局）

第12回 市内社会福祉施設等紹介

施設名 介護老人保健施設 **せせらぎ苑**
所在地 松井田町新堀1300-1 **定員** 50名 (ショート3名)
連絡先 027-393-0956 **設立** 平成15年8月



概要

施設“せせらぎ苑”は、松井田病院に隣接し、妙義山をパノラマに一望できる素晴らしい環境にある介護老人保健施設です。介護内容は、自宅介護が困難な方、一時的に介護が困難になった方、1日（6時間）デイケアと交流で過ごしたい方の3形態をとっております。当日伺った時は、デイルームに皆さんが集まり、介護士さんと楽しく歌ったり、クイズなどして交流していました。市民の皆様がこのような施設を広く理解して欲しいと思います。(猿谷)

概要

ヌア・リーベは平成18年、安中市の委託を受けて、障がいのある方の暮らしをサポートする地域生活支援センターとしてリニューアルオープンしました。

登録の手続き後に、日常生活の相談や、いこいの場や交流の場として、明るく清潔な施設を利用いただけます。施設長さんから、「ひとりひとりに寄り添うような支援のあり方を進めたい」と伺って、障がいのある方が、より自分らしくいきいきと地域で生活できるような方向に動き始めていることを強く感じました。(小板橋)

施設名 **ヌア・リーベ (ひとつの愛)**
所在地 安中市中宿124-15 **定員** 制限なし
連絡先 027-380-5385 **設立** 平成18年2月



概要

自然豊かな後閑の地に新しく後閑あさひ保育園（新井孝春園長）がオープンしました。外観はドイツの古民家をイメージして設計され、施設内も教室のドアにクラスのロゴがデザインされていたり、2階から給食室が観察できる窓が設置され子どもたちの視線と遊び心が随所に見られます。仏様の教えを通して保育を行い、自由活動の中にも規律を大事にしてお友たちとの輪を広げています。

地域福祉の視点から近隣のお年寄りをお誕生会に招いたり、季節や伝統行事を通して地域住民との交流が盛んに行われています。今後も豊かな自然に囲まれて子どもたちの健やかな成長を育んでみたいと思います。(新井)

施設名 **後閑あさひ保育園**
所在地 安中市中後閑724 **定員** 80名
連絡先 027-385-5541 **設立** 昭和51年4月



サ ロ ン 通 信

サ ロ ン 紹 介 「子育てサロン にこにこひろば」

原市あんなか福祉の家で毎週水曜日の午前10時～12時迄開かれています。

会員43名で武田美栄子代表とスタッフ8名です。開設16年目となり、当初より会員数は減少しましたが、常に充実している子育てサロンです。

6月8日（水）、取材当日は22名の未就園児がブロック積み、滑り台、おもちゃ等の遊具で楽しそうに遊んでいました。

お母さんたちも自由に輪を作り、スタッフと共に、リラックスして笑顔で親睦を図っていました。（宮田）



おかあさんもいっしょ♪

ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー 通 信

義援金 334,625円を被災地へ！！

共に頑張ろう！元の生活に戻れるように



義援金を手渡す大澤会長（左）

安中市ボランティア連絡協議会では、3月11日に発生した東日本大震災の被災者支援として加盟団体の協力を得て募金活動を実施し、上毛新聞社を通じて被災地へ贈りました。

発生から5か月を過ぎた今も復旧・復興がなかなか進まない中、仮設住宅や避難先で苦しんでおられる方々に「少しでもお役にたてば」との思いで今後も活動を続けてまいります。市民の皆様のご支援をよろしくお願いします。

ふくしの豆知識

～より良いまちにするために福祉を知ろう～

福祉に関する疑問や知りたい福祉用語等を市民の皆様から募集しています。ご意見がありましたら当会までご連絡ください。

「グループホーム」って何??

グループホームは、認知症の方が小規模な生活の場で少人数（5人から9人）を単位とした共同住居で、食事の支度や掃除、洗濯等をスタッフが利用者とともに共同で行い、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送ることにより、認知症状の進行を穏やかにし家庭介護の負担軽減も目的としています。

【効果】 認知症の方にとって生活しやすい環境を整え、少人数の中で「なじみの関係」をつくり上げることによって生活上のつまずきや行動障害を軽減し、心身の状態を穏やかに保つことができます。過去に体験したことがある役割を与えることにより、失われた能力を再び引き出すことが可能になります。

【対象者】 介護認定を受けた方で、要支援2～介護5

福祉ふれあいまつり福祉バザー物品並びにボランティア大募集

平成23年9月18日(日)に、安中市スポーツセンターにて「第11回福祉ふれあいまつり2011」を開催いたします。行事の一環として福祉バザーを実施いたします。家庭内に眠っている毛布・シーツ・食器等で**使用していないもの**がありましたら提供をお願いします。(古着・古本・使用済みの物はお断りいたします。)

なお、東日本大震災により被害を受けた被災地に売上金の一部を義援金として寄付させていただきます。

【納入期間】 平成23年8月26日(金)～平成23年9月13日(火)

【納入場所】 ①安中市地域福祉支援センター内 社会福祉協議会安中本所

安中市安中3-19-27 TEL 382-8397

②安中市役所松井田庁舎内 社会福祉協議会松井田支所

安中市松井田町新堀245 TEL 393-3948

*また、福祉ふれあいまつりの前日(17日)・当日(18日)に
お手伝いいただけるボランティアを募集します。

収集ボランティアのお願い

普段、なにげなく捨ててしまっている**ペットボトルのキャップ、プルタブ、使用済み切手、書き損じはがき、未使用タオル**を収集して再利用や困っている人のために役立てています。収集後は、世界の子どもの感染症ワクチン代や障がい者のスタンプアート活動等に活用されます。

当会では、県社会福祉協議会を通じて、ぐんまボランティア・市民活動支援センターに届けてボランティア活動に役立てているものもあります。

【注 意】 ペットボトルキャップは、**汚れがひどいもの、アルミキャップ、清涼水以外のプラスチックキャップ**はご遠慮ください。
シール付きのキャップは剥いであれば回収します。

【お問合せ】 安中市社会福祉協議会 安中本所 電話 382-8397

松井田支所 電話 393-3948

ぐんまボランティア・市民活動支援センター 電話 027-255-6111

心配ごと相談について(9月・10月)

(安中本所) と き: 毎週木曜日 9:00~11:30 (祝祭日を除く)

9月 1・8・15・22・29 10月 6・13・20・27

ところ: 安中市地域福祉支援センター 1F

(松井田支所) と き: 毎週月曜日 13:30~16:00 (祝祭日を除く)

9月 5・12・26 10月 3・17・24・31

ところ: 安中市役所松井田庁舎 2F第9会議室